

広報チームが行く！



洪水対応演習の巻



Vol. 12(2021/06/25)



国土交通省 東北地方整備局
鳴瀬川総合開発工事事務所

広報チームは、鳴瀬川総合開発事業及び関連する地域の情報を様々なメディアを活用し「親しみやすく」「わかりやすく」広報することを目的に令和2年6月に鳴瀬川総合開発工事事務所の職員で結成したチームです。

洪水期に備えて毎年実施

当事務所では、梅雨や台風等による大雨に備えて、洪水期(7~9月)前に【洪水対応演習】を行っています。今年は、6月14日(月)に実施をしました。

今回は、この【洪水対応演習】の事務所内での様子を一部紹介します。

どんな目的で行うの？

災害発生に備えての情報伝達体制の確認と強化です！！



まだ、鳴瀬川ダムが建設されていないのに訓練するだぁご？

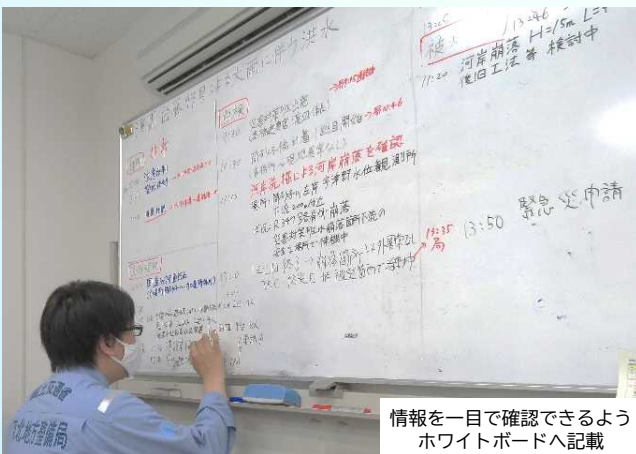
鳴瀬川ダム建設予定地を流れる“筒砂子川”の一部を、当事務所が管轄してるから、災害に備えるために訓練するんだよ。

(仮)鳴瀬川ダム
キャラ(非公式)



当事務所では、大雨で河岸崩落が発生し、国道347号の路肩が崩落する被災を受けたと想定し、関係機関との情報伝達や、被災箇所の復旧などの流れをシュミレーションして、一つ一つ確認する訓練を行いました。

当事務所では、漆沢観測所(半森山)で連続80mmを超えると“注意体制”に入ります。



情報を一目で確認できるよう
ホワイトボードへ記載



災害対策支部長(事務所長)へ
災害情報の報告

雨量や災害状況に応じて“警戒体制”“非常体制”に切り替わります。体制によって、実施する対応が異なってきます。

こうした訓練を積むことにより、鳴瀬川総合開発工事事務所では、今後梅雨や台風による出水に対し、いつでも対応できる体制づくりに努めています！！



鳴瀬川



災害時には、東北地方整備局のHPに各事務所の災害体制が公開されています。

大雨警戒レベル

洪水対応演習にちなんで...

令和3年5月20日から災害対策基本法が改正されました！！

これまでの避難勧告は廃止されたので、警戒レベル4の避難指示で安全な場所に避難しましょう！

例年、これからの時期は雨が多くなります。

一人一人、命を守る行動を！

皆さんもいざという時に備え、ハザードマップや避難経路等、身の安全を守る情報の再確認をしてみてください。



EE東北に行ってきました

今回で30回目の開催となった“*EE東北”に行ってきました。

最新の建設技術の展示、説明や *i-Constructionの体験、新技術のプレゼンテーションの聴講を通じて、最新技術について学び、とてもいい勉強になりました。私たちのダム事業にも、生かしたいと思いました。



*EE東北の「EE」とは？

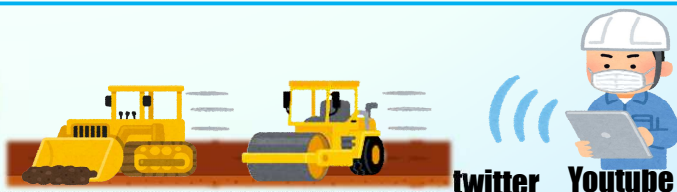
エンジニアリング エキシビション
Engineering Exhibitionの略で、「新技術を広く公開する」という意味です。

*i-Constructionとは？

国交省が進める「建設現場にICT（情報通信技術）を活用し、生産性向上を目指す取り組み」のことです。

ICTを活用することで、現場の生産性の向上や安全性の向上、結果的には効率化や工期短縮に繋がるという取り組みです。

具体例を挙げると、ドローンを使った3次元測量やICT建設機械の自動制御による建設現場のICT化に取り組んでいます。



今回は、洪水対応演習&EE東北の一部を紹介しました。広報チームは、これからもいろんな事を発信し、事務所ホームページ、twitter等で広報していきます☆

